評	価対象事業			評価者	道路課担当課長 森 明彦			彦			
都整-	10 六涌安/	全施設整備事業		■ 自治事務	主管課	道路課					
41)定	13	王旭政罡哺尹未		□ 法定受託事務	関連課						
総合計画 位置付		道路整備		施策の方針	 道路・橋りょ	うの整備・維持管理	= 理				
	・ という という という という という という という という という という			2 平原	2 平成26年度に実施した事業の概要						
対				交通安全施設を改修し、安全で円滑な交通を確保するとともに、スクールゾーン							
象 意 宏	:			の安全対策を実施した。 ・交通安全対策施設工事を行った。							
図 区	な交通を確保し、	、事故防止を図るため。		前年度か	・交通安全整備工事を行った。 ・前年度から事故繰越しした、交通安全施設整備工事を行った。						
効 果 交通	の円滑化、安全	性の向上を図る。		・交通安全施設整備工事については、翌年度へ繰越しを行った。 ・交通安全対策施設工事については、翌年度へ繰越しを行った。							
3 事業費等基礎データ											
デ合	データ区分	27年度当初予算 177,243人	_					備 考 各年3月31日			
塩	世帯数	80,676世帯	世帯			1		(住民基本台帳)			
タカ	事業の対象者数		事業の対象		2 F- 114	1					
	当初予算(千円)	36,679	決算値(刊	千円) 19,6	619						
運	国県支出金	10,200	国県支出		04	Τ/	7				
資	地方債		地方債								
運営資源状	その他	26,479	その他		915	 					
状況	人員配置数		人員配置			 					
7,6	人件費(千円)	15,871	人件費(=			 					
事	総事業費(千円)	52,550	総事業費(-	千円) 36,5	588						
経業	市民1人当りの 経費(円)	296	市民1人当)6	/					
費 運 営	対象者1人当り		対象者1人	と当り		 /					
4 =₩ £1	の経費(円)		の経費(₩.Г .	<u> /</u> 「ハ亚サト ・「ナカほト ・ノー。	こしては ゴ				
4 評価	山柘 朱 年度事業実施	市内の道路は、整備後	日本年券が欠い			「公平性」「協働」につ					
	+皮争未关旭:つての課題	多岐に渡るため、その対			:仏態が悪く、「	川氏がり柵修安至が	*多く前せり4	いる。また、内谷も			
課題解決	そのために行っ 26年度の取組	市民からの要望内容及で	び状況に応じる	るため、作業センターと連携を図り、有効かつ効率的な対処を							
				■ 未解決							
未解決の課題 市民からの道路に関する補修要望は多く、内容も多岐にわたる。また、抜本的な改修が必要とされる箇所が多く、対応 新たな課題 年を要することになる。											
効 率 性	事業費に削減	(余地はないか		2. ない							
劝华汪	関連・類似事	業との統合はできないか		3. 統合できない							
	事業の実施に	対する市民ニーズはある	らか	2. 増大している							
妥当性	事業の廃止・休	k止による市民生活への影	響は大きいか	3. 廃止・休止による影響は大きくある							
ı	今後も市が実	施すべき事業か		5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある							
± ±1 ₩	事業の成果は	は得られているか		2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である							
有効性		医策に向けた貢献度は大	きいか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している							
公平性	受益者負担は	公正・公平か	△.負担未導入	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない							
協働	ᆂᄆᄷᄓᆒ	て東 要 ナ 屈 即」 ていて もい	∧ 切無土宝坊	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない							
加加加到	甲氏寺と励働し	して事業を展開しているか	△.協働未実施	協働実施済の場合	iのパートナー						
事業内 容の方 向性	□ a:事業内	容を見直す ⇒	<mark>見</mark> □ 拡大	76							
	■ b:事業内容は現状通りとする 種 _{類し} □ 縮小			<mark>内直</mark> 容し							
	□ c:事業を休止又は廃止する □ その			他 ^の							
	□ d:他事業	さと統合し、本事業は廃止	:する =	⇒				事業へ統合			
予算規模の方	□ A: 予算規模を拡大する 事業内容・予										
	■ B:予算規	見模は現状維持とする	算規模の方向	交通の円滑化や安全	D円滑化や安全性の確保について、交通安全施設の整備改修を行う。						
向性	□ C:予算規	見模を縮小する	性設定の理由								

交通安全施設の整備改修に努め、交通の円滑化や安全性を確保する。

〇 他市比較・/	<u> ベンチマーク</u>	(県内外自	治体や民間	団体との比較	(値)				
比較事項									
団体名	鎌倉市藤沢		茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
10.11.54.35									
比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績 ——									
心中天候									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
//. 									
他市実績 ——									
当該事業実施に	伴う								
他市比較に関す 考え方	る								
	なった								
◎ 事業実施に 指標の内容	派の拍標					単		票の	備考
当該指標を設定	定した理由	年次	H26	H27	H28	位 H29	H30	向 H31	M0 · 3
	たし7こ/空田	目標値	1120	1127	1120	1120	1100	1101	
		実績値							
		達成率							
指標の内容						単	指	票の	備考
当該指標を設	中1 北. 珊. 市	年次	1106	1107	1100	位		(向	III 7
ヨ談拍標で設	正し/に理田	目標値	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
		実績値							
		達成率							
							指	票の	144.40
指標の内容	m .					位	傾	向	備考
当該指標を設	定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
		日標値							
		実績値達成率							
		廷队平				単	指	票の	
指標の内容						位	傾	向	備考
当該指標を設	定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
		目標値							
		実績値							
		達成率							
指標の内容						単 位		票の i向	備考
当該指標を設	定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
		目標値							
		実績値							
		達成率							
当該事業実施に指標の推移に関	伴う								
指標の推移に関す 考え方	する								
事業に関す	る特記事項								

□ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業

□ 第3期基本計画前期実施計画重点事業